

15 農業集落排水事業 (蘭・広瀬地区農業集落排水事業関係)

令和3年度より地方公営企業会計基準に則った会計制度への移行を行なった。

1. 収支の状況

(1) 収益的収支の状況 (3条決算)

収益的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	決算額 (4年度)		決算額 (5年度)		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
下水道事業収益	100,091,831	100.0	101,364,562	100.0	1,272,731	1.3
1. 営業収益	12,585,034	12.6	12,856,377	12.7	271,343	2.2
2. 営業外収益	87,506,797	87.4	88,508,185	87.3	1,001,388	1.1

収益的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	決算額 (4年度)		決算額 (5年度)		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
下水道事業費用	62,719,369	100.0	63,673,626	100.0	954,257	1.5
1. 営業費用	53,121,353	84.7	58,149,229	91.3	5,027,876	9.5
2. 営業外費用	7,650,439	12.2	5,524,397	8.7	△2,126,042	△27.8
3. 特別損失	1,947,577	3.1	0	0	△1,947,577	皆減

○収益的収支について

本年度の下水道事業収益は101,364,562円であり、内訳として下水道使用料11,688,383円、一般会計繰入金66,686,000円、長期前受金戻入21,822,185円となった。下水道事業費用は63,673,626円であり、内訳として処理場費10,601,855円、浄化槽費22,000円、総係費10,587,215円、減価償却費35,512,335円、支払利息5,173,897円、消費税及び地方消費税1,184,986円、その他特別損失0円となった。

(2) 資本的収支の状況 (4条決算)

資本的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	決算額 (4年度)		決算額 (5年度)		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
資本的収入	11,800,000	100.0	3,000,000	100.0	△8,800,000	△74.6
1. 企業債	11,000,000	93.2	3,000,000	100.0	△8,000,000	△74.6
2. 負担金等	800,000	6.8	0	—	△800,000	皆減

資本的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

区分 科目	決算額（４年度）		決算額（５年度）		翌年度 繰越額	前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比			
資本的支出	49,934,937	100.0	53,473,806	100.0	0	3,538,869	7.1
1.建設改良費	0	—	0	—	0	0	—
2.企業債償還金	49,934,937	100.0	53,473,806	100.0	0	3,538,869	7.1

○資本的収支について

本年度の資本的収入は3,000,000円であった。

資本的支出は53,473,806円であり、内訳として、企業債償還金53,473,806円となった。

2. 事業の実績

(1) 農業集落排水事業への加入状況

①水洗化率

区 分	５年度	４年度
処理区域内受益戸数	456 戸	456 戸
接続済受益者戸数	326 戸	326 戸
処理区域内人口	623 人	631 人
処理区域内水洗化人口	538 人	554 人
水洗化率	86.4%	87.8%

②地区別排水施設接続状況

(単位：戸、人)

地 区	処理区域内 受益戸数	接続済受益 戸数	接続率	処理区域内 人口	接続済人口	水洗化率
	A	B	B/A	C	D	D/C
尾越	51	37	72.55%	82	77	93.90%
上段	32	24	75.00%	60	60	100.00%
大島	27	17	62.96%	43	36	83.72%
中平	26	16	61.54%	42	35	83.33%
鹿の島	40	33	82.50%	58	55	94.83%
新道	22	17	78.26%	34	32	94.12%
中央	18	15	83.33%	14	14	100.00%
本町	19	16	84.21%	22	22	100.00%
元町	21	11	47.62%	21	13	61.90%
中折	37	24	64.86%	32	19	59.38%
神橋	22	11	50.00%	28	21	75.00%
口広瀬	19	13	68.42%	26	24	92.31%
寺	24	19	79.17%	21	21	100.00%
口志水	17	14	82.35%	21	21	100.00%
奥志水	20	19	95.00%	28	19	67.86%
大山幸助	41	25	60.98%	58	43	74.14%
漆畑	20	15	75.00%	33	26	78.79%
計	456	326	71.21%	623	538	86.36%

※令和５年度接続戸数 0 戸 廃止 0 戸 (接続済受益戸数は設置公共樹数を基準に積み上げ)

(2) 排水施設使用料等

①使用料

下水道事業 2. 事業の実績 (2) 参照

②量水器使用料

下水道事業 2. 事業の実績 (2) 参照

③納付方法 使用料の徴収は、現金納付と口座振込納付の2種類で対応している。

④下水道使用料・分担金の徴収状況

使用料等徴収状況

(単位：円)

使用料区分	調定額	徴収額	未収額	収納率
下水道使用料 (現年度)	12,841,260	12,620,375	220,885	98.28%
(過年度)	498,593	251,707	246,886	50.48%
量水器使用料 (現年度)	16,488	15,816	672	95.92%
(過年度)	0	0	0	0.00%
計	13,356,341	12,887,898	468,443	96.49%

受益者分担金徴収状況

分担金区分	調定額	徴収額	未収額	収納率
現年度分担金	0	0	0	—%
過年度分担金	1,240,000	0	1,240,000	0.00%
計	1,240,000	0	1,240,000	0.00%

受益者分担金徴収猶予分

◎徴収猶予対象分総額 (令和5年度当初) … 27件 9,720,000円

	全件数	解除手続完了	令和2年度徴収	未収のもの	未手続
件数	5件	0件	0件	0件	5件
分担金額	1,800,000円	0円	0円	0円	1,800,000円

(3) 施設の管理状況

①施設の処理状況

項目	5年度	4年度
一日平均処理水量 (m ³ /日)	140.4	137.5
一日最大処理水量 (m ³ /日)	301	199
年間処理水量 (m ³)	51,242	50,189
年間搬出汚泥量 (m ³)	200	175
年間有収水量 (m ³)	46,552	44,745

令和5年度 月別処理状況

単位：m³

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
汚水処理量	3,859	4,538	4,608	4,981	4,468	4,194	4,253	4,102	4,332	4,179	3,769	3,959	51,242	140.4
搬出汚泥量			50.0			50.0			50.0			50.0	200.0	

②浄化センター維持管理状況

- ・処理施設の運転並びに維持管理業務、マンホールポンプ場の維持管理業務を長野県土地改良事業団体連合会へ委託して処理施設の円滑な運営に努めた。
- ・処理水質について変動は見られるが基準値以下を保っており安定した処理が行われた。
- ・処理水量は日平均 140.4 m³ 計画放流水質 BOD:20mg/l SS:30mg/l

③修繕関係

・蘭地内舗装修繕工事（小原宅前）	539 千円
・元町マンホールポンプ場 通報装置改修工事	1,188 千円
・蘭浄化センター誘導灯取替工事	499 千円
・蘭浄化センター 流量調整槽水位計及び変換器交換工事	836 千円

④経営の効率性

使用料単価	使用料収入（注 1）／年間有収水量	271.4（円/m ³ ）
汚水処理原価	汚水処理費（注 2）／有収水量	476.2（円/m ³ ）
経費回収率	使用料単価／汚水処理原価×100	57.0（%）
1 ヶ月 20m ³ 当たり一般家庭用下水道使用料	消費税抜き	4,242 円
処理人口 1 人あたりの資本費（公債費）	資本費（公債費）／現在処理区域内人口	65,307（円/人）

注 1：使用料収入＝料金収入（税抜き）

注 2：汚水処理費＝維持管理費における汚水処理費＋資本における汚水処理費

（4）更新工事

令和 5 年度は未実施

（5）地方公営企業法適用推進（委託先：株式会社 電算）

令和 3 年度に特別会計から公営企業会計へ移行した。

（6）今後の問題点・課題等

人口減少が進み料金収入の大幅な増加が見込めない中で、下水処理施設の修繕などのランニングコストの増加が予想されるため、最適整備構想（長寿命化計画）に基づいた中・長期的な維持管理を進めていく。また令和 3 年度に公営企業会計へ移行したことで、より緻密な経営分析が可能となり、これに基づき経営戦略を見直し、より一層の事業経営の合理化、効率化を進めていく必要がある。

（7）経営戦略の改訂

人口減少社会の到来や節水社会への移行、改良・更新需要への対応あるいは災害対策等の推進など経営環境の厳しさが増す中で、将来にわたって安定的に事業を継続するため、中長期的な視点に立った経営を行い、徹底した効率化・経営健全化に取り組む必要があるため、平成 28 年に策定した「農業集落排水事業経営戦略」の改訂を行った。

（株）東京設計事務所…3,278,000 円

3. 地方債の状況

・地方債の償還額及び未償還金元金残高

（単位：円）

区分	令和 4 年度末	令和 5 年度中増減		令和 5 年度末
	未償還元金	借入金	償還元金	未償還元金
農業集落排水事業	238,527,087	0	37,597,306	200,930,501
平準化債	130,861,000	3,000,000	14,826,000	119,035,000
公営企業法適用推進債	6,547,500	0	1,050,500	5,497,000
合 計	375,936,307	0	53,473,806	325,462,501